

2022年8月2日

各位

会社名 積水化成品工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 柏原 正人
 (コード番号 4228 東証プライム)
 問合せ先 取締役専務執行役員
 コーポレート戦略本部長 佐々木 勝巳
 (TEL. 03-3347-9618)

連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は2022年4月28日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を以下のとおり修正しましたので、お知らせ致します。

記

1. 業績予想修正について

(1) 2023年3月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 60,000	百万円 400	百万円 300	百万円 100	円 銭 2.21
今回発表予想(B)	60,000	△450	△220	△700	△15.49
増減額(B-A)	0	△850	△520	△800	
増減率	0.0%	-	-	-	
(ご参考) 前期 第2半期実績	59,419	653	750	336	7.46

(2) 2023年通期連結業績予想の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 125,000	百万円 1,800	百万円 1,600	百万円 900	円 銭 19.91
今回発表予想(B)	125,000	950	1,080	100	2.21
増減額(B-A)	0	△850	△520	△800	
増減率	0.0%	△47.2%	△32.5%	△88.9%	
(ご参考) 前期 通期実績	117,567	1,463	1,401	△5,917	△130.99

(3) 業績予想修正の理由 (括弧内数字は、営業利益ベースの第2四半期累計期間の影響額)

- 原燃料高騰影響 (約△8億円)
2022年4月28日に開示しました当連結会計年度の業績予想発表時点において、原燃料価格の上昇につきましては一定の見積もって計画を作成し、販売価格への転嫁を進めておりましたが、その後の度重なる原燃料価格の急激な高騰に対する更なる販売価格への転嫁に遅れが生じ、大幅な収益圧迫要因となっております。
- 上海ロックダウンに伴う需要減少 (約△1億円)
中国・上海のロックダウンにより、中国内工場の一時停止を余儀なくされるなど、事業活動に大幅な影響を受けました。6月にロックダウンは解除されましたが、再びコロナ感染が拡大するなど、依然としてサプライチェーンは通常に戻っておらず、需要に影響を受けております。
- 積水化成成品大分の火災対応 (約△2億円)
2022年4月22日発生した食品容器用原反の「エスレンシート」を生産している株式会社積水化成成品大分の火災事故に関し、お客様への製品供給責任を果たすため他の生産子会社の増産にて対応しておりますが、他拠点から九州地区への配送運賃等の一時的な費用が発生しております。
なお、積水化成成品大分においては、7月より生産の一部再開を行いました。今後、順次復旧を進めて参ります。
- その他(原価低減等) (約+2.5億円)

上記の通り、各種収益圧迫要因に対して原価低減や固定費の削減に努めておりますが、全てをカバーするまでに至っておらず、業績予想を修正するものです。

なお、下半期の業績については、上半期のマイナス影響への対策の実施に伴い従来予想に織り込んでいた予想数値を変更しないこととします。このため、通期連結業績予想の営業利益修正額は第2四半期累計期間の修正額と同額であります。

2. 配当予想の修正について

今回の業績予想修正に伴う配当予想 (2023年3月期年間配当金合計12円 (中間3円、期末9円)) の修正はありません。

今後、業績予想の見直しが必要となった場合には、速やかに公表いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記載は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上